

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市の情報をお届けします。

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

友好都市中国・昆山市の知られざる取り組み

昆山市は、平成5年に当時の赤羽根町が友好都市提携を結んだ都市です。平成17年の提携再調印をきっかけに、昨年は、看護師研修生を受け入れたり、中学生派遣事業を再開したりするなど、田原市との交流事業は活発になってきています。

経済発展と自然環境が融和した昆山市

古くは呉の中心地であったといわれる昆山市。現在は工業都市として知られています。上海から北西へ約50kmという立地のよさから、台湾や日本をはじめとする外資系企業約4000社が進出をしています。

その昆山市で現在盛んなのが「エコ」への取り組み。緑化推進をはじめ、汚水・大気汚染対策としてさまざまなエコ活動を実施しており、中国政府からは

「国家環境保護模範都市」にも指定されています。

このように、自然環境との共生を目指してまちづくりを進める昆山市。2004年には中国国内で「最も魅力のある都市10選」に選ばれています。



工業都市とは思えないほど緑豊かな昆山市の市街地

第22回 共に考え共に歩もう

男女共同 参画社会へ

企画課 23局3507

少子化と男女共同参画って
関係あるの？

日本では現在、少子化が進んでいます。少子化の直接の原因は、晩婚化・晩産化の進行ですが、未婚化の進行も大きな原因の一つとなっています。働く女性が増大する一方、仕事と子育てを両立できる環境が十分に整わないことなどが、結婚や出産を消極的にしています。

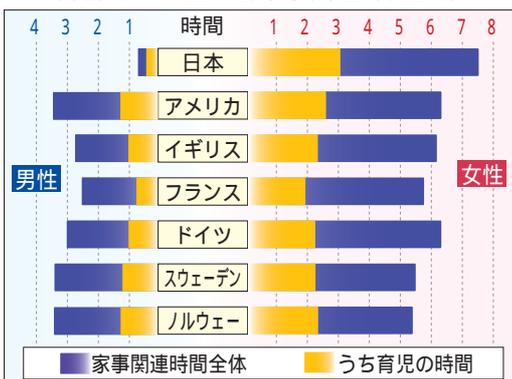
欧米などの先進諸国に目を向けると、国をあげて「働き方の改革」に取り組み、子どもを産み育てやすい環境を整備するために総合的な対策をとっている国では、出生率が回復する傾向にあります。

働き方の改革とは？

育児休業制度があっても、それを利用してしばらく職場の雰囲気や、子育て期であるにもかかわらず、仕事優先となり、家事や育児に携わる時間が短くなってしまふ男性の働き方などを見直し、一人ひとりの意識を変えていくことです。

日本の男性が家事・育児に携わる時間は、他国に比べ極端に短く、一方、女性は長くなっています。夫婦がお互いに家事・育児の負担を分かち合えるように協力し、仕事と子育てを両立するワークライフバランスが可能となるよう、働き方の改革を進めていきたいと思います。

1日当たりの男女別家事関連・育児時間



出典：「平成18年版厚生労働白書」